

苫小牧市立清水小学校学校便り

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』
◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

第 7 号 令和 4 年 9 月 2 8 日 発行

みんなで創りあげる表現の場「学芸会」

秋の澄み渡った青い空に、子どもたちの歌声、合奏などが響き渡っています。10月8日（土）に開催される学芸会の練習が本格的に始まりました。9月26日（月）からは、学芸会特別日課が始まり、練習にも熱が入っています。

苫小牧市内では、本校も含め新型コロナウイルスによる学級閉鎖等が連日報告されており、まだまだ油断できない状況ではありますが、感染対策を十分に講じたうえで来賓の方もお招きして今年度の学芸会を行う予定です。

さて、これまで当たり前のように行われていた学芸会ですが、目的は何でしょう。

ご存じのように、学芸会は本番当日にステージ上で発表することが目的ではありません。学芸会を通して、子どもたちに豊かな感性や仲間を思いやる心を育てること、自分の役割に責任をもって取り組むなど責任感・連帯感を育てることが目的なのです。

本校では、学芸会の目標を次のように設定しています。

- ① 日常の学習成果を力いっぱい表現する中で、豊かな感性や仲間を思いやる心を育てる。
- ② それぞれの役割に責任をもち、創意工夫しながら、一つのものを創りあげていく喜びを味わわせる。
- ③ 美しさや楽しさを味わいながら鑑賞する態度を養う。

これらの目標を達成するための学芸会。学芸会の練習に励んでいる子どもたちは、上記のような「体験的に学ぶことにより培われる力」を身に付けているところです。体験から獲得する力は、子どもたちにとって揺るぎないものとなり、自信につながっていくことでしょう。

当日の子どもたちが創り出す表現から、仲間を思いやる心や子どもたちの創意工夫、そしてやり遂げた成就感が見られるはずです。このような姿に注目し、今年度の学芸会をどうぞお楽しみください。

